

フリーメイソンロッジの門

この門はかつてフリーメイソンの地元支部が集会を開いた長崎メソニック・ロッジ・ビルの正面を示していた。フリーメイソンは 18 世紀初頭に設立された友愛結社で、そのルーツは中世ヨーロッパに存在した石工組合に遡ると考えられている。メイソンのロッジは世界中のフリーメイソンリーの基本的な組織単位である。この門の柱の一つには、石工団体の象徴である直角定規とコンパスが彫り込まれている。

長崎メソニック・

ロッジは 1885 年に設立され、スコットランド出身のジョン・カルダー(1847~1892 年)が初代マスターを務めた。会議はその後、下り松にあるアーサー・ノーマン(1854~1897 年)の新聞社の二階で開かれた。設立メンバーのほとんどは、三菱長崎造船所に勤務するイギリス人男性で、石造のシンボルは、長崎国際墓地にある墓のいくつかで見ることができる。しかし、多くの憶測があるにもかかわらず、トーマス・グラバー(1838~1911 年)、またはフレデリック・リンガー(1838~1907 年)がフリーメイソン会員であったという証拠はない。

長崎ロッジは 1919 年に解体され、建物は 50 年代後半から 60 年代前半に解体された。正門は保存され、旧グラバー邸と旧リンガー邸の間の芝生に移された後、今度は旧リンガー邸の隣に移転した。この正門は、他の居留地の石造建築と同様、天草砂岩でできている。

採用番号 NO :	023-017
-----------	---------